

保護者様

富士市立富士中央小学校
校長 望月 和洋

令和5年度 第1回「学校評価」集計結果の報告

保護者の皆様には、日頃より本校の教育に御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、4月から7月までのお子さんの様子や御家庭における保護者の皆様の取組、富士中央小の教育活動を振り返り「学校評価」をしていただきました。まもなく前期を終える時期となりますので、結果を御報告するとともに、後期や来年度の教育活動の改善に結果を生かしてまいります。今後も子どもたちのより良い成長を目指して、家庭と地域、そして学校との連携を深めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

第1回学校評価 共通・類似質問事項 肯定的な回答の割合

※（ ）は昨年度の第1回の数値、**太字**は目標の対象

※数値は四捨五入して提示

共通・類似質問事項 ()内は類似した保護者又は教師への質問		グランドデザインの 数値目標	児童	保護者	教師
①	学校生活は楽しいですか。 (よい表情で学校に行っている。)	92	94 (90)	94	100
②	授業はよく分かる。(授業をよく理解している。)	90	91 (87)	86	100
③	先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。(伝えられている。)	75	80 (73)	78	48
④	家で、自分で計画を立てて勉強している。 (計画的に勉強している。)	富士市の到達目標 65	70 (71)	61	56
⑤	自分の好きな学習がある。	98	97 (94)	97	100
⑥	もっと知りたい、もっと学びたいことがある。	88	92 (86)	93	100
⑦	I C T機器を授業で活用している。	95	91 (87)	66	96
⑧	1か月に7冊以上読書をしている。 (進んで読書をしている。)		68 (72)	50	92
⑨	自分のことを大切にしている。	95	92 (89)	97	100
⑩	友達のことを大切にしている。	98	99 (97)	99	96
⑪	自分から進んであいさつをしている。	88	88 (84)	77	68
⑫	自分から進んで係・委員会活動を行っている。	88	89 (87)	89	96
⑬	友達と運動することが楽しい。	95	95 (91)	92	96
⑭	運動にあきらめずに挑戦している。	88	88 (83)	86	68
⑮	学校生活の中で安全に気を付けて生活している。	96	94 (89)	93	52
⑯	困ったことを富士中央小の先生に気軽に相談できる。	95	71 (68)	88	
⑰	富士中央小学校は、安心して子どもを任せられる。			99	

★学校生活全体に関して

「学校は楽しい。」は94%の子どもが、そして「よい表情で学校に行っている。」は94%の保護者の皆様と全教員が肯定的に捉えています。子どもたちの数値も昨年度より上がり、三者全てが数値目標を達成しました。この数値の高さが「安心して子どもを任せられる」という保護者の皆様の数値にもつながっていると考えられます。

今後も子どもたちが授業や行事、日々の生活などに主体的に取り組めるように子どもたちと共に考えていきます。また、後期も学校経営目標に掲げる「主体的に友達とかかわり合い、一人一人が温かい気持ちで支え合う学校づくり」を築いていけるように、子どもたち一人一人を大切に思い、支えていきます。

★授業や学習面に関して

今年度も『友達とかかわりながら学びを深めていく子の育成～THANKSが生まれる授業～』（T：達成感・H：発見・A：相手を意識した聴き方、話し方・N：納得・K：共感、感動がS：複数、たくさんある授業）を行い、授業の充実を図り、確かな学力の定着を目指しています。各学級で目指す授業や重点項目を話し合い、教室や職員室前廊下に掲示し、意識を高めています。昨年度から項目に掲げた「自分の好きな学習がある。」「もっと知りたい、もっと学びたいことがある。」の数値が大きく上がっていることから、子どもたちが主体的に楽しく学びに取り組んでいることが分かります。

「先生や友達に自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。」では、子どもたち（80%）・保護者の皆様（78%）と教師（48%）との間に大きな差がありました。相手に自分の考えを伝える手段の一つであるタブレットを扱う技術が、身に付いてきていることも子どもたちの数値の高さにつながっていると考えられます。子どもたちは、タブレットの扱いにも慣れてきて、授業や宿題、委員会や係に関する特別活動など様々な場面で、自分の考えや調べたことをまとめたり、発表したりすることに上手に活用しています。子どもたちの数値は頑張っているという思いの表れですが、教師から見るともっと頑張れると期待しているという表れであることも分かります。本校が大切にしていることの一つであるノートづくりの力を高めていくことと合わせながら、今後も子どもたちが学びに向かう意欲を高めていきたいと思えます。

★挨拶、係・委員会などの活動に関して

「自分から進んで係・委員会活動を行っている。」では、子どもたちと保護者の皆様（89%）、教師（96%）と三者共に高い数値になっています。学級や学校をよりよくしていこう、楽しい生活になるようにしていこうと、子どもたちが主体的に取り組むことができているからだと考えられます。委員会の仕事に責任を持って取り組む高学年の姿も立派です。思いやりがいっぱいの学校を目指す運営委員会の活動など、低学年の子どもたちにもしっかりと広がっている活動がたくさんあります。

★運動・安全面に関して

昨年度と同様に、「学校生活の中で安全に気を付けて生活している。」では、子どもたちと保護者の皆様の数値に比べ、教師の数値が40%近く低いものになっています。学校では、教室・廊下・階段の歩き方等の校舎内での過ごし方、帰宅後の遊び方など、自分の命を自分で守ることと同時に周囲の方のことも考えて行動することについて、繰り返し指導を続けています。しかし、教室や廊下を走っている姿など危険な場面、首から上のけがなどによる保健室への来室など、心配な事象が残念ながら見られます。教師の数値については、子どもたちの安心安全な学校生活を築いていく意識を常に持っている中での数値であると御理解いただければと思います。

★保護者アンケートの御意見より

本校の教育をより良いものにしていくための御意見や御提案をたくさんいただきました。すべてにお答えすることはできませんが、学校の考えや対応をお知らせします。

・「仕事の都合をつけられるように、年間の行事予定をもっと早く配付してほしい。」

→配付後、内容に変更がある可能性があります。3月中旬をめどに配付したいと思えます。

・「社会科見学や野外活動を通じて、目で見て感じた体験は貴重であると考えます。先生方にとっては大変だと思えますが、継続してお願いします。」

→生活科や社会科の学習、学校行事等の実体験を通して得る学びの機会を学校でも大切に考えています。今年度もすでにいくつかの学年で、校外学習を実施することができました。今後も、子どもたちの学習の流れや興味関心に合わせて計画していきながら、本校の学びの質をさらに高めていきたいと思えます。